

## 玉川大学芸術学部と小田急百貨店町田店の教育連携

### 小田急百貨店町田店 40周年記念イベントをプロデュース！

～学生が、「メッセージ募集 CM」の制作と「特設会場の演出」を展開～

玉川大学芸術学部（東京都町田市／学長：小原芳明）は、株式会社小田急百貨店（本社：東京都新宿区／社長：樋本達夫）、町田店と産学連携活動の一環として広告クリエイティブに取り組みました。

これは、この秋に開店 40 周年を迎える小田急百貨店町田店から、「お世話になった地域のお客様に、地元の教育機関と連携してプロモーションを行いたい」という意向から、実現したものです。そこで、大切な人へありがとうの想いを伝える『ありがとうの贈り物』というコンセプトに応える形で、開店 40 周年を告知する CM を制作。さらにお客さまからメッセージを募り、展示する特設会場の演出も担当します。プロジェクトの進行では、小田急百貨店の担当の方と議論を重ね、企画・制作を進めていきました。

このようにして完成した CM は町田店のホームページだけでなく、小田急線町田駅や神奈川中央交通のデジタルサイネージでも放映されています。また特設会場は、9月14日（水）～27日（火）に一般公開が行われます。

なお一般公開に先がけ、前日 13 日（火）は、学生が担当する会場最終仕上げの様子として、メディアの方々にご覧いただく機会を設けています。



メディア公開日 9月13日（火）10:00~12:00 会場：小田急百貨店町田店  
（当日は、装飾作業の様子がご覧いただけます。取材ご希望の方は事前にご連絡ください）

## ●この連携事業の特徴

・「メッセージ募集 CM」と「特設会場」の企画から学生が担当

・地元ならではの協力で、綿密な教育連携体制を実現

6月から玉川大学キャンパス、小田急百貨店町田店の双方で、定期的な企画会議を実施。

・プロのクリエイターが、アドバイスに加わりクオリティを向上

・特設会場では、町田市の花「サルビア」を活用したプロデュースを提案

・メッセージ募集 CM の制作には、小田急百貨店実店舗を舞台にした撮影を実施

小田急百貨店の店員もキャストに加わり、より現実に即した現場を体験

・産学連携により、学生たちがリアルに学び、体験する機会となった

メッセージ募集 CM 班と特設会場班の学生から感想が得られた（詳細は 2 ページを参照）

なお、玉川大学 HP でも一部ご覧いただけます。

[http://www.tamagawa.jp/education/report/detail\\_10860.html](http://www.tamagawa.jp/education/report/detail_10860.html)

<本リリースに関するお問合せ・取材に関するお問い合わせ>

玉川大学教育企画部広報課 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

電話 042-739-8710 E-mail: pr@tamagawa.ac.jp

## ●40周年記念のメッセージ募集CMを学生が制作



芸術学部メディア・デザイン学科の学生有志10名が、メッセージ募集CM案を18プラン企画。小田急百貨店の担当の方々にプレゼンテーションを行い、採用された4案を実際に制作。完成したCMは、小田急百貨店町田店のホームページのほか、小田急線町田駅や神奈川中央交通のデジタルサイネージでも放映されています。

以下のURLからご覧いただけます。

[http://www.odakyu-dept.co.jp/machida/40th\\_anniversary/index.html](http://www.odakyu-dept.co.jp/machida/40th_anniversary/index.html)

### <携わった学生のコメント>

クライアントである小田急の方々と何度も意見交換しながらCMを制作させていただいたこのプロジェクトは大変有意義で学ぶことも多かったです。このプロジェクト内で、CMの送り手であるクライアントと、CMの受け手である一般の人々のことを深く理解しようと努力し、必死に企画を考えました。また制作した経験は今後、卒業作品を制作していく上でも、また卒業して仕事についてからも、強みになると感じています。これからも今回学んだことを活かし人の心に響くCMづくりをしていきたいです。

芸術学部 メディア・アーツ学科4年 川村 和

## ●特設会場の演出を学生が担当

町田市の花であるサルビアをモチーフに、芸術学部メディア・デザイン学科の学生有志4名が展示会場の演出を担当。お客さまから募ったメッセージを、小田急百貨店町田店の特設会場に展示します。



### <携わった学生のコメント>

ディスプレイデザインに関する技術や知識の習得はもちろん、限られた時間と予算の中でどのようにプロジェクトが進められていくのか、実際の仕事に近い感覚で経験することができました。実践を通して学びで、普段の授業とは少し違う、よりリアルな気付きが多かったように感じました。

このような貴重な経験から培った感覚は、自身の作品制作へ大きく影響を与えてくれました。これらを武器に卒業制作へも取り組んでいきます。 芸術学部 メディア・アーツ学科4年 梶村夏実

### <40周年記念イベント詳細>

小田急百貨店町田店開店40周年×玉川大学芸術学部メディア・デザイン学科コラボ  
『ありがとうの贈り物』

展示期間：9月14日（水）～27日（火）

展示会場：小田急百貨店町田店9階 レストラン街特設会場



特設会場イメージ

## 参考

### 実績が豊富な芸術学部の産学連携教育と、学生たちの入賞歴

全学部でさまざまな産学連携教育を行っている玉川大学。特に芸術学部では、アートで社会に貢献できる人を育てることを目的に、多様な「プロジェクト型授業」を展開しています。プロジェクトは企業、官庁、自治体などの外部の組織や団体と連携して行っています。企画を立てるコンセプトワークやプロモーション、制作などの一連の流れをプロの社会人とともに遂行しています。

<羽田空港でのグラフィック作品制作>

#### ・主なプロジェクト型授業実績

「羽田空港でのグラフィック作品制作 (2013年)」

「学内建設現場クレーンを利用したイルミネーション制作 (2013年)」

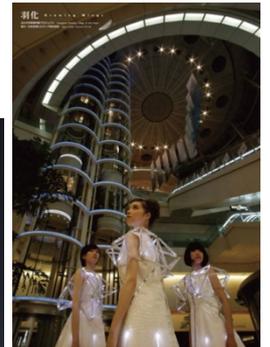
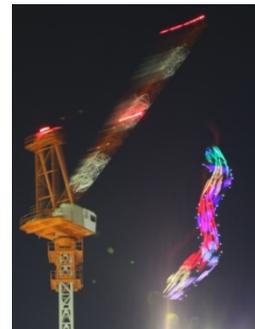
※本作品は、日本空間デザイン賞 2014 にて優秀賞を受賞しました。

「町田市立金井小学校の生徒を招いての作品制作 (2014年)」

「日本航空の整備工場でのライトアートモード作品制作 (2014年)」

「銀座三越屋上ガーデンのイルミネーション演出 (2015年)」

「郵船クルーズの客船でのライトアートモード作品制作 (2016年)」



<クレーンを利用したイルミ制作>



<日本航空の整備工場での作品制作>

<銀座三越屋上のイルミ演出>

<郵船クルーズの客船での作品制作>

また、学生たちは学外のコンテストにも積極的に出品。CM制作だけでも、数多くのコンテストで入賞を果たしています。

#### ・主な映像系入賞歴

「第12回ACジャパンCM学生賞」を2作品で受賞 (2016年)」

[http://www.tamagawa.ac.jp/college\\_of\\_arts/news/news026.html](http://www.tamagawa.ac.jp/college_of_arts/news/news026.html)

「さがまちバンバンAWARD 2015 グランプリ (2015年)」

[http://www.tamagawa.ac.jp/college\\_of\\_arts/news/news023.html](http://www.tamagawa.ac.jp/college_of_arts/news/news023.html)

「神奈川県国民年金基金 CMプロジェクト2015『手つなぎ編』 (2015年)」

「神奈川県国民年金基金 CMプロジェクト2015『パン屋編』 (2015年)」

<https://www.kana-kokunenkin.or.jp/movie/>



<AC ジャパン CM 学生賞授賞式>